

ソフトウェアテストシンポジウム2006 in 東京 (JaSST '06) プログラム 1/30(1日目)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
セッション0) 10:00~10:15 《15分》	セッションA0《15分》 オープニングセッション				
セッション1) 10:15~12:00 《75分》	セッションA1《75分》基調講演: Identifying Testing Priorities through Risk Analysis <i>Rick Craig (Software Quality Engineering)</i>				
休憩 12:00~13:00《60分》					
セッション2) 13:00~14:30 《90分》	セッションA2) 要求検証 しなくてどうする!	セッションB2) 見つかってからじゃ 遅すぎる Webセキュリティ	セッションC2) 会社の中心で テストを叫ぶ	セッションD2) チュートリアル1	セッションE2) 一歩先行く テスト設計
	A2-1《60分》 無駄なシステムを 作らないための 要求開発検証の仕組み 萩本 順三 (豆蔵)	B2-1《45分》 Webセキュリティ - 設計編: 「Webシステムに必要な セキュリティ要件の 組み込み」 丸山 司郎(ラック)	C2-1《15分》 JTCBテスト技術者 資格制度のご紹介 西 康晴(JTCB)	D2《2時間50分》 チュートリアル: Preventive Testing <i>Rick Craig</i> (Software Quality Engineering)	E2-1《30分》 反復開発に適用した テストスイート生成と 継続的テストの実施 関 将俊 (東芝医用システム エンジニアリング)
	A2-2《30分》 “CoD: Chain of Defects” -要求仕様書の バグパターン 細川 宣啓(日本IBM)	B2-2《45分》 Webセキュリティ - 検証編: これだけはやりたい Webシステムの セキュリティ検証 加藤 大受 (JaSST実行委員会)	C2-2《75分》 パネルディスカッション: テスト技術の教育と 社内展開 パネルリーダー: 秋山 浩一(富士ゼロックス) パネルメンバ: 鈴木 三紀夫(TIS) 佐藤 隆(インテック)		E2-2《30分》 オープンソース・ツールを 活用した組込みシステムの テスト改善 穴田 啓樹(CATS)
	休憩 14:30~14:50《20分》				休憩《20分》
セッション3) 14:50~16:20 《90分》	A3-1《60分》 ビジネスリスク軽減のための アプリケーション品質管理 プロセス~マキユリーが 考える品質管理の最適化~ 鈴木 功彦(マキユリー・ インタラクティブ・ジャパン)	B3-1《60分》 日産自動車における ソフトウェア品質向上活動 菊池 光彦(日産自動車) 提供:東陽テクニカ	C3-1《60分》 Visual Studio 2005で 実現する 高品質なソフトウェア開発 岩出 智行(マイクロソフト)		E3-1,2,3,4《各15分》 ・組込みソフトウェア信頼性 向上ソリューションご紹介 (コードレビュー、動的テスト、 静的検証支援ツールご紹介) 植田 宏 (エアアイコーポレーション) ・NET開発で カバレッジ100%を実現 藤原 祐之 (日本コンピュウェア) ・あきらめていませんか? —テストの自動化— 渡邊 雅子(日本ノーベル) ・テスト自動化:ソースコードから、 要求・デザインモデルから 浅野 義雄(富士設備工業)
休憩 16:20~16:50《20分》					
セッション4) 16:50~18:20 《90分》	セッションA4) 今年も 100人に聞きました	セッションB4) 組み合わせの爆発を 防げ	セッションC4) テスト管理のヒント	セッションD4) アジャイル・ パラダイス	セッションE4) フォーマル・ テストिंग
	A4-1《30分》 定量的テスト完了判断 基準の一考察 堀 明広 (ソフトウェア技術者 ネットワーク)	B4-1《30分》 テストケース生成ツール 「ATAF」による 品質検証の試行と考察 —「直交表」を活用する— 辰巳 敬三/殿村 方規 (富士通)	C4-1《30分》 三色ボールペンで 読む仕様書 鈴木 三紀夫(TIS) ※講演者の都合により 変更となりました。	D4-1《20分》 J2EEアプリケーション開発に おけるビルド/テスト自動化 への実践的アプローチ 北嵐 直樹(日本IBM)	E4-1《20分》 CRUDマトリックスの 自動生成による品質管理 藤山 泰之(日本IBM)
	A4-2《60分》 クイズ ソフトウェアエンジニア 100人に聞きました 司会: 榊原 彰(日本IBM) 出場: S-open/QuaSTom 選抜チーム SESSAME選抜チーム	B4-2《30分》 all-pair法を応用した 携帯電話組み込み用 モバイルFeliCa ICチップ ファームウェアの 評価に関する報告 太田 豊一 (フェリカネットワークス)	C4-2《30分》 教育を利用した テストプロセス マネジメントの改善 奥村 有紀子 (電気通信大学)	D4-2《20分》 TDDを加速する 疑似クラス生成方法 伊尾木 将之(日本IBM)	E4-2《20分》 試験ケースの自動抽出 吉野 由紀夫(CATS)
	休憩		B4-3《30分》 バグのパターンを用いた テストの提案 河野 哲也(電気通信大学)	C4-3《30分》 システム構築品質の 定量評価事例 田中 良治(日本IBM)	D4-3《20分》 アジャイル開発の得失 —代表9プロジェクトの 開発体験を元に考察— 馬屋原 篤雄(富士通)
休憩		D4-4《20分》 JUnitから始める 「トヨタ生産方式」 和田 憲明(富士通)		E4-4《20分》 モデル検査の デバッグへの適用 篠崎 孝一(関西電力)	
情報交換会(登録者のみ・レストラン)					

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
セッション5) 10:00~11:30 《90分》	セッションA5) 名物っ! テストング ライブ2006	セッションB5) どうする? Webサービス/SOA	セッションC5) 組込みテスト 日々は精進	セッションD5) チュートリアル2	(併催: JTCBテスト技術者 資格試験会場)
	A5-1《90分》 今年もやります 名物っ! テストングライブ '06 参加選手(チーム): えがびー(豆蔵) 野村圭 (JaSST in Osaka 実行委員会) ウィークリーミーティング (日本IBM) 実況・解説・問題作成: 加藤大受 (JaSST実行委員会) 大西 建児(豆蔵) 片山 徹郎(宮崎大学) 増田 聡(日本IBM) 吉澤 智美 (NECエレクトロニクス) 【協力:㈱クラフトワン】	B5-1《30分》 テストモデルを中心とした Webアプリケーション 機能テスト環境 上原 忠弘(富士通研究所)	C5-1《45分》 テスト容易化を目指した 設計と実施の工夫 森 孝夫(三栄ハイテックス)	D5《2時間50分》 チュートリアル: 知識ゼロから学ぶ ソフトウェアテスト 高橋 寿一 (ソニー)	
		B5-2《30分》 サービス連携システム向け テストツールの一提案 住友 千紗(NTTデータ)	C5-2《45分》 不具合を分析して 設計を駆動する 山田 大介(リコー)		
		B5-3《30分》 Webシステム テスト・ルネッサンス -高品質と短納期の 両立へ向けて- 林田 智也 (横河情報システムズ)			
休憩 11:30~11:50《20分》					休憩 《20分》
セッション6) 11:50~12:50 《60分》	A6《60分》 Eclipse & TPTPを拡張した Rationalの 品質管理ポートフォリオの ご紹介 富永 康之(日本IBM)	B6《60分》 失敗から学ぶ -Webアプリケーション 性能管理成功の秘訣- 山岡 英明(エンビレックス)	C6《60分》 テスト/保守の工程を 支援する SIMPLIA(シンプリア) シリーズのご紹介 (個人情報を含む実データを テストデータとして 活用するために) 宮崎 欣也(富士通)		
休憩 12:50~13:50《60分》					
セッション7) 13:50~14:05 《15分》	セッションA7《15分》 招待講演: IT検証産業協会(IVIA)の紹介 浅井 清孝(IT検証産業協会)				
セッション8) 14:05~15:35 《90分》	セッションA8《90分》 招待講演: 一ヶタ高い品質のための ソフトウェアテスト 保田 勝通(つくば国際大学)				
休憩 15:35~15:55《20分》					
セッション9) 15:55~17:25 《90分》	セッションA9《90分》 パネルディスカッション: テストはどのくらいやればいいのか? パネルリーダー: 松尾谷 徹(デバッグ工学研究所) パネルメンバ: Rick Craig(Software Quality Engineering) 保田 勝通(つくば国際大学) 山浦 恒央(日立ソフトウェアエンジニアリング)				
セッション10) 17:25~17:45 《20分》	セッションA10《90分》 クロージングセッション				

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。